



江別のみなさん、こんにちは。  
4月です。  
長い冬を終え、北海道にも春がやってきました。  
少しずつ気温が高くなって、春らしくなってきましたね。  
春は、入学や就職などの他にも、多方面で始まりの時を迎える人がいます。睡眠と食事をしっかり取り、体調を崩さないよう心掛けましょう！

代表取締役社長 石崎 昭仁

東京防災へ



防災準備を始めましょう!!

## LIXILの工場見学!

2月22日開催予定のリクシルの工場見学がコロナウイルスの蔓延で中止になりました。非常に残念ですが次回に期待しましょう!!。次回の開催予定は5月以降とのことです。そこで以前の工場見学の状況をご案内いたします。なかなか見る事のできないLIXIL北広島工場で作られている商品などの工場概要の説明を受け、次にスーパーウォールの説明を受けます。そして工場見学へ!という流れです。発泡プレス機、プレスされたパネルの強度と張り合わせただけのパネルの強度を比較体感できるサンプル等々。



製作工程をご説明します



発泡材を注入します  
注) 実際の見学会では注入はしません



発泡が落ち着き安定するまで圧力をかけ養生します



ウレタンの材料です。主剤と硬化剤を混ぜ発泡させます。スーパーウォールはコンピューター制御され、その日の気温、湿度などの諸条件に合わせ最適な品質を保つ様に設定されています。



断熱材注入直後です



時間と共に膨らんで来ます



そして実際のウレタンの発泡過程がわかる、見えるサンプル発泡実験・・・と色々です。またお子様が退屈しない様なイベントもあります。北広島工場で作られている断熱材は、グラスウールの1.5倍の性能を持つ断熱材です。主に新築住宅に使われる素材です。地球温暖化が深刻と言われて10年以上の年月が過ぎ、住宅のエネルギー消費量は削減傾向にあります。まだまだと言った感じでしょうか?。工場見学を通して地球環境について考える良い機会になると思います。工場見学の開催日が確定しましたらHP等でご案内いたします。一度は見てみたい!とお思いの方は是非、弊社までご連絡ください。予約受付など、詳細をご連絡いたします。

## 幻の漆喰、ピュアケアウォール 施工編

幻の漆喰ピュアケアウォールをリフォームで使用しました。普通の工程である石膏ボードに塗る方法と、今貼ってあるクロスの上に直接漆喰を塗る方法を二つ試してみました。石膏ボードに直接塗る方法は新築住宅で実績がありますが、クロスに直接塗る方法は今回初めて試してみました。今貼られているクロスの状態を確認し、剥がれ、浮きなどを補修し下地処理を行います。乾燥後、下塗りを行います。クロスに直接塗る方法は、クロスを貼る感覚で、仕上げを漆喰に変える方法です。下地の状態により仕上げが左右されますが、工期の短縮になります。漆喰の出来上がりはよく目にすると思います。今回は、なかなか見ることができない工事部分をご紹介します。



クロス部分の下地処理をします



ひび割れを防止するテープを貼ります

漆喰はどうしても下地石膏ボードの継ぎ目、天井と壁の境目、壁の入り隅などヒビ割れが起きやすい性質があります。入念にひび割れ防止用のテープを貼り、割れ防止をします。しかし年月が経つとともに、下地材の乾燥から動き割れは発生すると思います。できるだけ割れが発生しない様に施工しますが、このあたりが塗り壁の難点と言えば難点になるところですね!

しかし漆喰の良いところを考えると、性質をご理解頂きぜひお使い頂きたいと思います。

クロスの上に直接塗ります

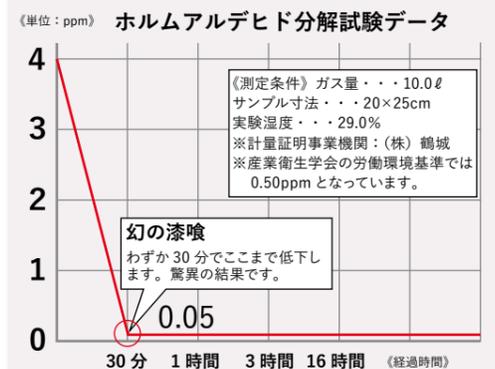


下塗り



下塗り完了

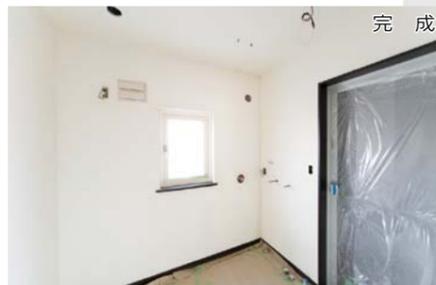
下のグラフをご覧ください。



漆喰を塗った部屋の化学物質の低減試験結果です。実際漆喰を塗ったA様にお聞きしたところ、「何が良いのか? 具体的にはわからないけど、何か良いんだよね!。」と仰っていた事がこのグラフから読み取れるのでは?と思います。漆喰は少々金額が張りますが、おすすめの仕上げ方法です。ぜひリフォームを含めご検討をおすすめ致します。



完成



完成



つなぎ材



つなぎ材を入れ良く攪拌します



中塗り



中塗りから仕上げへ



幻の漆喰ピュアケアウォールの詳細についてはこちらのQRコードよりご覧ください。